㋐　前後，左右，上下など方向や位置に関する言葉を用いて，ものの位置を表すこと。

(ｲ) 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

㋐　身の回りにあるものから，いろいろな形を見付けたり，具体物を用いて形を作ったり分解したりすること。

㋑　身の回りにあるものの形を図形として捉えること。

㋒　身の回りにあるものの形の観察などをして，ものの形を認識したり，形の特徴を捉えたりすること。

イ　角の大きさに関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 次のような知識及び技能を身に付けること。

㋐　傾斜をつくると角ができることを理解すること。

(ｲ) 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

㋐　傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について，大きい・小さいと表現すること。

C　測定

ア　身の回りのものの量の単位と測定に関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 次のような知識及び技能を身に付けること。

㋐　長さ，広さ，かさなどの量を直接比べる方法について理解し，比較すること。

㋑　身の回りにあるものの大きさを単位として，その幾つ分かで大きさを比較すること。

(ｲ) 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

㋐　身の回りのものの長さ，広さ及びかさについて，その単位に着目して大小を比較したり，表現したりすること。

イ　時刻や時間に関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 次のような知識及び技能を身に付けること。

㋐　日常生活の中で時刻を読むこと。

㋑　時間の単位（日，午前，午後，時，分）について知り，それらの関係を理解すること。

(ｲ) 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

㋐　時刻の読み方を日常生活に生かして，時刻と生活とを結び付けて表現すること。

D　データの活用

ア　身の回りにある事象を簡単な絵や図，記号に置き換えることに関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 次のような知識及び技能を身に付けること。

㋐　ものとものとの対応やものの個数について，簡単な絵や図に表して整理したり，それらを読んだりすること。

㋑　身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し，比較して読み取ること。

(ｲ) 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

㋐　個数の把握や比較のために簡単な絵や図，記号に置き換えて簡潔に表現すること。

〔数学的活動〕

ア　内容の「A数と計算」，「B図形」，「C測定」及び「Dデータの活用」に示す学習については，次のような数学的活動に取り組むものとする。

(ｱ) 身の回りの事象を観察したり，具体物を操作したりして，算数に主体的に関わる活動

(ｲ) 日常生活の事象から見いだした算数の問題を，具体物，絵図，式などを用いて解決し，結果を確かめる活動

(ｳ) 問題解決した過程や結果を，具体物や絵図，式などを用いて表現し，伝え合う活動

3　指導計画の作成と内容の取扱い

(1) 指導計画の作成に当たっては，次の事項に配慮するものとする。

ア　単元など内容や時間のまとまりを見通して，その中で育むべき資質・能力の育成に向けて，数学的活動を通して，児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際，数学的な見方・考え方を働かせながら，日常の事象を数理的に捉え，算数の問題を見いだし，問題を自立的，協働的に解決し，学習の過程を振り返り，概念を形成するなどの学習の充実を図ること。